



平成 27 年 12 月 15 日

【照会先】

大臣官房統計情報部

人口動態・保健社会統計課世帯統計室

縦断調査管理官 後藤 敬一郎

室長補佐 近藤 敬太 (内線 7473)

(担当) 出生児縦断統計企画係

平成 13 年出生児 (内線 7474)

平成 22 年出生児 (内線 7566)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2413

第 13 回 21 世紀出生児縦断調査(平成 13 年出生児)及び 第 4 回 21 世紀出生児縦断調査(平成 22 年出生児)の概況

目 次

調査の概要

- I 第 13 回 21 世紀出生児縦断調査 (平成 13 年出生児) 1 頁
- II 第 4 回 21 世紀出生児縦断調査 (平成 22 年出生児) 3

結果の概要

【第 13 回調査 (平成 13 年出生児)】

- 1 母の就業状況の変化 5
- 2 子どもの就寝時間と朝食 7
- 3 子どもが思う悩みや不安 9
- 4 子どもの将来の職業 11

【第 4 回調査 (平成 22 年出生児)】

- 1 母の就業状況の変化 13
- 2 食事のようすで心配なこと 15
- 3 保育サービスの利用状況 16

統計表 17

用語の定義 23

この結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス (<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/>)

調査の概要

I 第13回21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）

1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、平成13年度から実施している統計調査であり、21世紀の初年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策、子どもの健全育成等、厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

2 調査の対象

全国の平成13年（2001年）1月10日から同月17日の間及び同年7月10日から同月17日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

第13回調査における対象児の年齢は13歳（中学1年生）である。

3 調査の時期

1月生まれは平成26年1月18日、7月生まれは平成26年7月18日とした。

（参考：第1回調査から第6回調査の1月生まれは8月1日、7月生まれは2月1日である。）

4 調査事項

保護者…父母の就業状況、子育てに関する意識、喫煙の状況、子育て費用等

子ども…家族の状況、起床・就寝時間、食事のようす、悩みや不安、将来（進路・結婚等）等

5 調査の方法

調査票の配布及び回収は郵送により行った。

6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は次のとおりである。

	1月生まれ			7月生まれ			合計		
	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
第1回	26,620	23,423	88.0%	26,955	23,592	87.5%	53,575	47,015	87.8%
第2回	23,391	21,923	93.7%	23,575	22,002	93.3%	46,966	43,925	93.5%
第3回	23,374	21,365	91.4%	23,523	21,447	91.2%	46,897	42,812	91.3%
第4回	22,439	20,699	92.2%	22,398	20,860	93.1%	44,837	41,559	92.7%
第5回	21,735	19,824	91.2%	21,824	19,993	91.6%	43,559	39,817	91.4%
第6回	21,020	19,154	91.1%	21,167	19,383	91.6%	42,187	38,537	91.3%
第7回	20,182	18,304	90.7%	20,416	18,481	90.5%	40,598	36,785	90.6%
第8回	19,530	17,978	92.1%	19,731	18,158	92.0%	39,261	36,136	92.0%
第9回	18,865	17,480	92.7%	19,067	17,784	93.3%	37,932	35,264	93.0%
第10回	18,359	17,256	94.0%	18,630	16,868	90.5%	36,989	34,124	92.3%
第11回	17,948	16,426	91.5%	18,111	16,487	91.0%	36,059	32,913	91.3%
第12回	17,529	16,067	91.7%	17,509	15,998	91.4%	35,038	32,065	91.5%
第13回	16,960	15,204	89.6%	16,944	15,127	89.3%	33,904	30,331	89.5%

7 利用上の注意

- (1) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。
なお、各図表は集計客体が異なるため、脚注にそれぞれ総数を掲載している。
- (2) 調査回における対象児の年齢は以下のとおりである。

調査回	対象児の年齢
第1回調査	月齢6か月
第2回調査	1歳6か月
第3回調査	2歳6か月
第4回調査	3歳6か月
第5回調査	4歳6か月
第6回調査	5歳6か月
第7回調査	7歳（小学1年生）
第8回調査	8歳（小学2年生）
第9回調査	9歳（小学3年生）
第10回調査	10歳（小学4年生）
第11回調査	11歳（小学5年生）
第12回調査	12歳（小学6年生）
第13回調査	13歳（中学1年生）

注：第7回調査（7歳）は、第6回調査（5歳6か月）から1年6か月後に実施した。

- (3) 表章記号の規約

計数のない場合	—
---------	---

Ⅱ 第4回 21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）

1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、平成22年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察するとともに、21世紀の初年である平成13年に出生した子を継続的に観察している調査との比較対照等を行うことにより、少子化対策等の施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

2 調査の対象

全国の平成22年（2010年）5月10日から同月24日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

第4回調査における対象児は3歳6か月である。

3 調査の時期

平成25年12月1日とした。

4 調査事項

母の就業状況、ふだんの保育者、保育サービスの利用状況、子どもの朝起きる時間・夜寝る時間、ふだんの食事のようす 等

5 調査の方法

調査票の配布及び回収は郵送により行った。

6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は次のとおりである。

	配布数	回収数	回収率
第1回	43,767	38,554	88.1%
第2回	38,523	33,356	86.6%
第3回	37,582	32,380	86.2%
第4回	34,563	29,582	85.6%

7 利用上の注意

- (1) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。
なお、各図表は集計客体が異なるため、脚注にそれぞれ総数を掲載している。
- (2) 調査回における対象児の年齢は以下のとおりである。

調査回	対象児の年齢
第1回調査	月齢6か月
第2回調査	1歳6か月
第3回調査	2歳6か月
第4回調査	3歳6か月

結果の概要

【第13回調査（平成13年出生児）】

1 母の就業状況の変化

母が有職の割合は年々増加し、第13回調査（中学1年生）では76.4%となっている

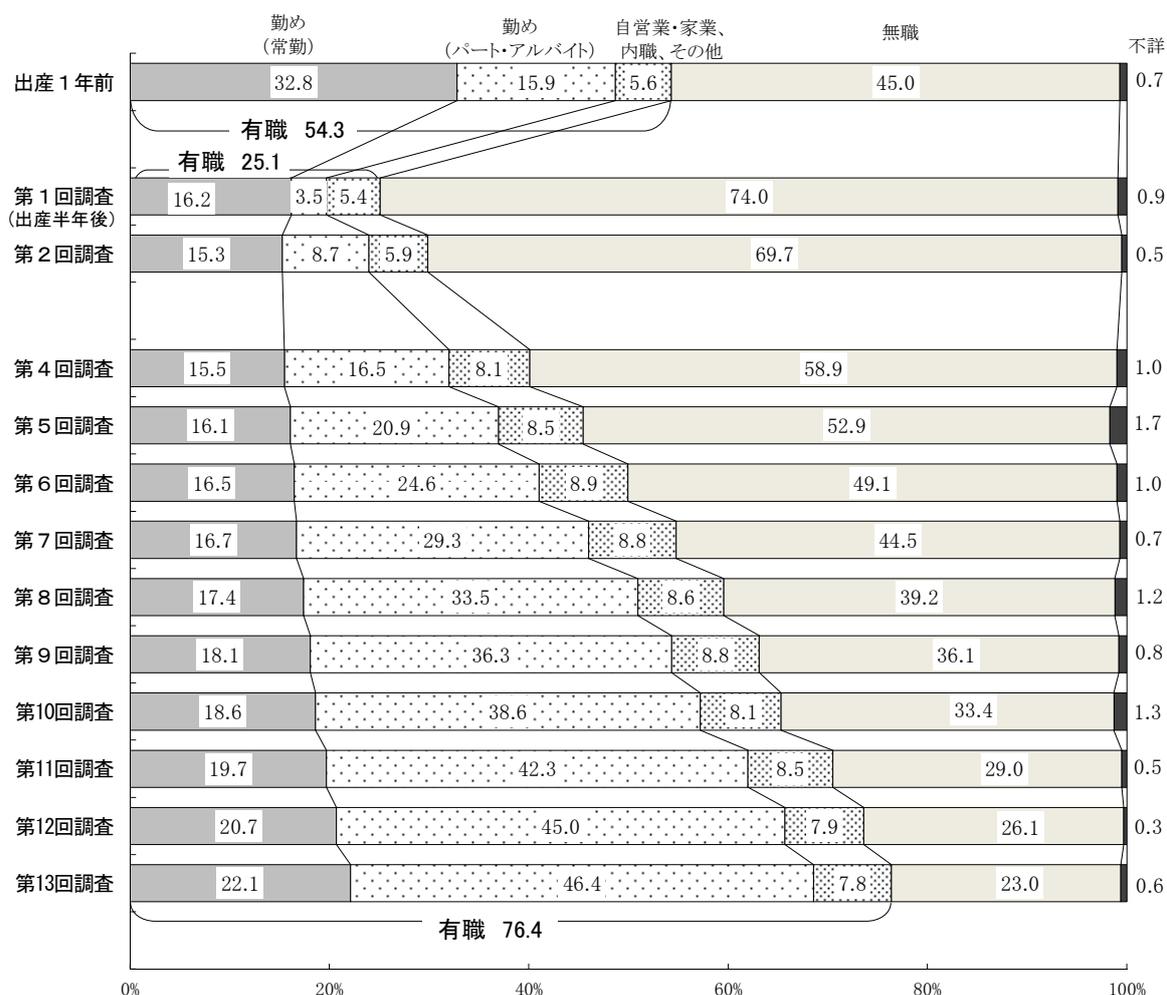
母が有職の割合は、出産1年前の54.3%が、第1回調査（出産半年後）で25.1%に減少したが、その後は年々増加し、第13回調査（中学1年生）では76.4%となっている。

母の就業状況の変化をみると、「勤め（パート・アルバイト）」の割合は、第1回調査（出産半年後）の3.5%から年々増加し、第13回調査では46.4%となっており、「勤め（常勤）」の割合は、第4回調査（15.5%）から徐々に増加し、第13回調査では22.1%となっている。（図1）

また、第12回調査（小学6年生）と第13回調査（中学1年生）との変化をみると、第12回調査で「無職」であった母のうち、24.7%が「有職」となり、その内訳では「勤め（パート・アルバイト）」が最も多くなっている（表1）。

第13回調査の母の就業状況をきょうだい構成別にみると、「有職」の割合は「弟妹のみ」（74.2%）と「兄姉のみ」（79.9%）では、「兄姉のみ」の方が5.7ポイント高くなっている（表2）。

図1 母の就業状況の変化



注: 1) 第1回調査から第13回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者(総数 25,461)を集計。

2) 第3回調査は母の就業状況を調査していない。

表1 第12回調査の母の就業状況別にみた第13回調査の母の就業状況

(単位:%)

第13回調査 (中学1年生)	第12回調査 (小学6年生)	総数 ²⁾	無職	(再掲)		有職	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業	内職	その他	
				仕事を 探して いる	仕事を 探して いない							
総数 ²⁾		(100.0)	100.0	23.0	6.6	15.5	76.4	22.1	46.4	6.2	1.1	0.5
無職		(26.1)	100.0	74.8	18.1	54.0	24.7	1.7	19.5	2.2	1.0	0.3
(再掲)	仕事を探している	(6.6)	100.0	53.0	35.7	16.0	46.4	4.1	39.4	1.0	1.4	0.5
(再掲)	仕事を探していない	(18.6)	100.0	82.7	12.1	68.1	16.8	0.6	12.4	2.6	1.0	0.2
有職		(73.5)	100.0	4.6	2.5	1.8	94.7	29.3	56.0	7.6	1.2	0.6
勤め(常勤)		(20.7)	100.0	2.1	1.3	0.6	97.2	91.6	4.4	0.8	0.0	0.4
勤め(パート・アルバイト)		(45.0)	100.0	5.2	3.1	1.9	94.2	5.3	87.5	0.8	0.2	0.4
自営業・家業		(6.1)	100.0	5.8	1.4	3.8	93.0	2.9	8.2	80.7	0.4	0.8
内職		(1.3)	100.0	15.0	5.1	9.0	84.1	-	26.1	0.6	57.4	-
その他		(0.4)	100.0	16.8	8.8	8.0	82.3	9.7	27.4	10.6	2.7	31.9

注: 1)第1回調査から第13回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者(総数 25,461)を集計。

2)総数には、就業状況「不詳」を含む。

3) は、就業状況に変化のないものである。

表2 きょうだい構成別にみた母の就業状況【第13回調査】

(単位:%)

母の就業状況	きょうだい構成 ²⁾	総数 ³⁾	無職	有職	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業	内職	その他
ひとり(対象児本人のみ)	(14.2)	100.0	25.1	73.9	25.3	40.9	6.3	0.9	0.5
弟妹のみ	(36.8)	100.0	25.3	74.2	21.1	45.7	5.6	1.3	0.6
兄姉のみ	(37.7)	100.0	19.2	79.9	23.5	48.9	6.2	0.8	0.5
兄弟姉妹あり	(11.3)	100.0	22.6	76.6	21.4	44.9	8.6	1.3	0.4

注: 1)第13回調査の回答を得た者のうち、「母と同居」の者(総数 29,793)を集計。

2)きょうだい構成は、調査対象児と同居している兄弟姉妹の構成をいう。

3)総数には、母の就業状況「不詳」を含む。

2 子どもの就寝時間と朝食

平日の就寝時間は、年齢が高くなるにつれて遅くなっており、就寝時間が遅いほど、朝食を食べる割合は減っている

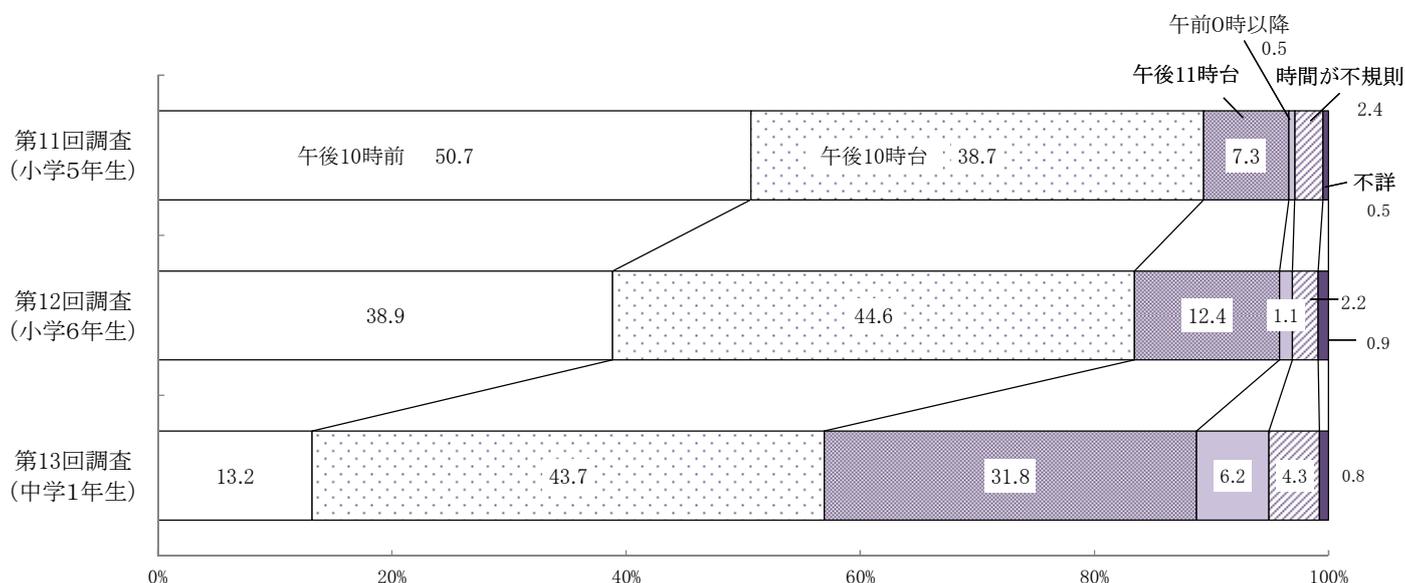
子どもの平日の就寝時間について、第11回調査（小学5年生）、第12回調査（小学6年生）、第13回調査（中学1年生）の割合の変化をみると、「午後10時前」では、第11回調査（50.7%）、第12回調査（38.9%）、第13回調査（13.2%）と年々減少している一方、「午後11時台」では、第11回調査（7.3%）、第12回調査（12.4%）、第13回調査（31.8%）と年々増加している（図2）。

平日の就寝時間別に朝食の有無の状況を見ると、「総数」では、朝食を「食べる」が92.0%、「食べないことがある」が5.9%、「食べない」が1.4%で、9割以上の子どもが朝食を食べているものの、就寝時間が「午前0時以降」では「食べる」は9割に満たず、「時間が不規則」では8割に満たない。就寝時間が遅いほど、朝食を「食べる」割合は減っている。（図3）

朝食を食べる子どもの朝食の主食、主菜、副菜のバランスをみると、「いつもバランスよく食べている」は36.4%、「ときどきバランスよく食べている」は45.3%、「バランスよく食べることはほとんどない・まったくない」は18.0%となっている（図4）。

また、朝食を食べない子どもの食べない理由をみると、「朝は食欲がない」（46.8%）が最も多く、次いで「食べる時間がない」（35.2%）となっている（図5）。

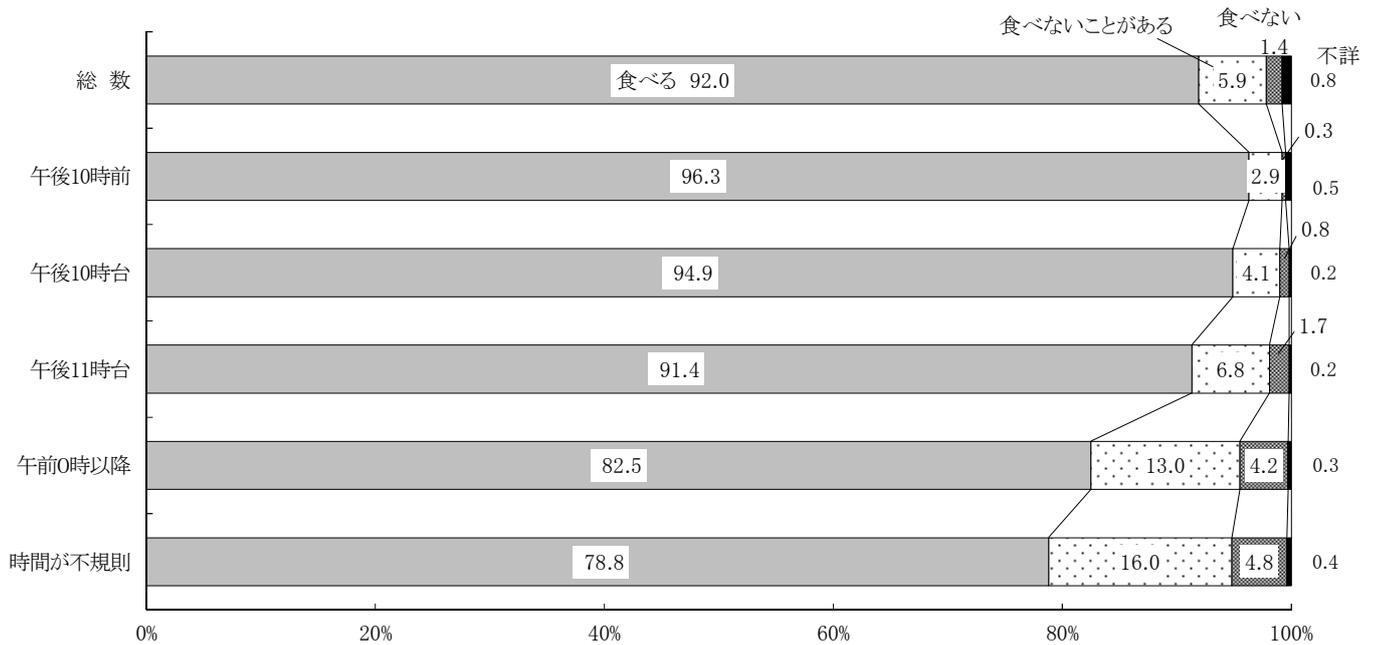
図2 子どもの平日の就寝時間の変化



注: 1) 第11回調査から第13回調査まで回答を得た者(総数 28,732)を集計。

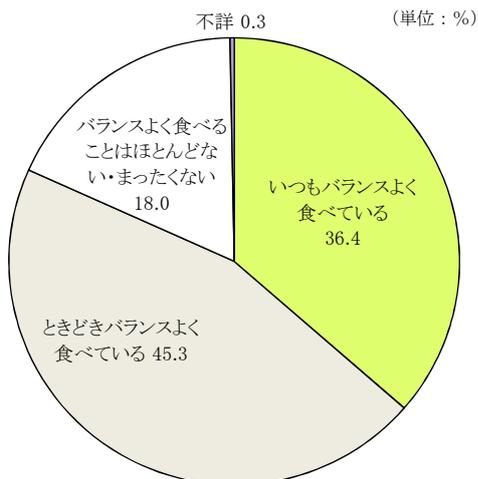
2) 第11回調査と第12回調査は、「登校日」の就寝時間である。

図3 子どもの平日の就寝時間別にみた朝食の有無の状況【第13回調査】



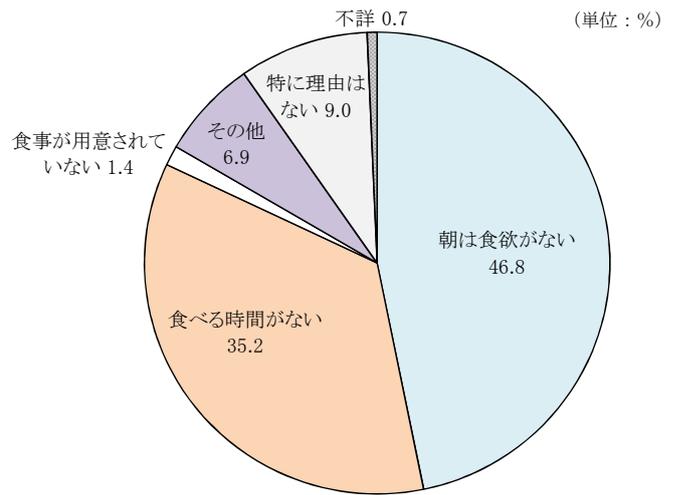
注: 第13回調査の回答を得た者(総数 30,331)を集計。

図4 朝食を食べる子どもの主食、主菜、副菜のバランス【第13回調査】



注: 第13回調査の回答を得た者のうち、朝食を「食べる」または「食べないことがある」に回答ありの者(総数 29,679)を集計。

図5 朝食を食べない子どもの食べない理由【第13回調査】



注: 第13回調査の回答を得た者のうち、朝食を「食べない」に回答ありの者(総数 421)を集計。

3 子どもが思う悩みや不安

- ・ 男児より女児の方が、「悩みや不安がある」と答えた割合は高くなっている
- ・ 悩みや不安の種類について、男女ともに「学校や塾の成績に関すること」の割合が最も高く、次いで「進路に関すること」となっている
- ・ 悩みや不安の相談相手は、男女ともに「母」の割合が最も高く、次いで、「友人」、「父」の順となっている

子どもが思う悩みや不安の有無を性別にみると、男児は「悩みや不安がある」が29.0%、「悩みや不安は特になし」が67.7%で、「悩みや不安がある」との答えは3割に満たない一方、女児は「悩みや不安がある」が43.5%、「悩みや不安は特になし」が53.9%と、「悩みや不安がある」との答えが4割を超えており、男児より女児の方が、「悩みや不安がある」と答えた割合は高くなっている（図6）。

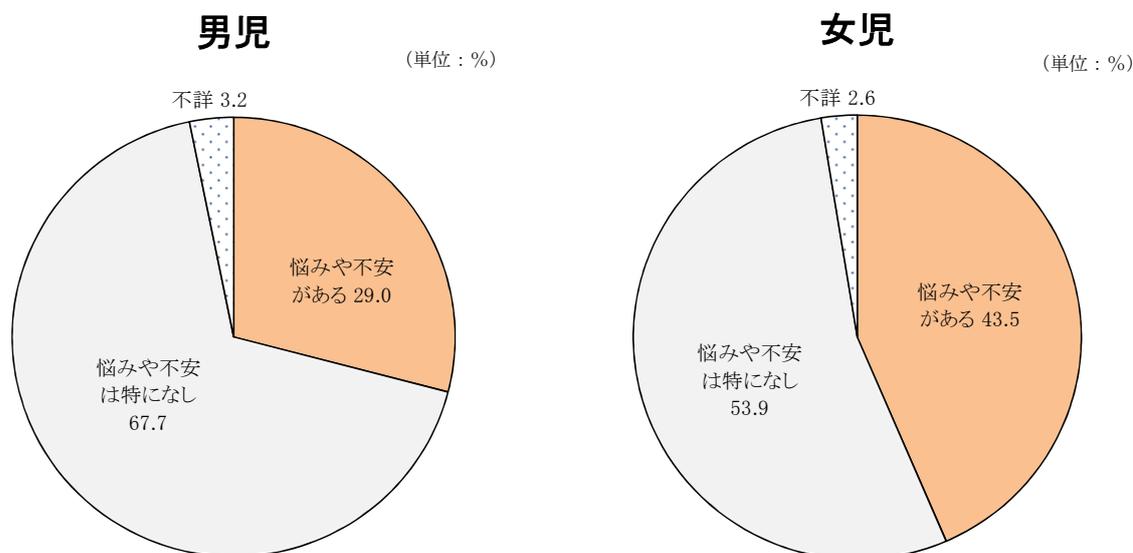
さらに、「悩みや不安がある」と答えた子どもについて、性別に悩みや不安の種類別の割合をみると、男児では、「学校や塾の成績に関すること」、「進路に関すること」、「親の期待や要求が高すぎること」、「友達との関係に関すること（友達ができない・友達の輪に入れないなど）」の順で高く、女児では、「学校や塾の成績に関すること」、「進路に関すること」、「友達との関係に関すること（友達ができない・友達の輪に入れないなど）」、「自分の容姿に関すること」の順で高くなっている。

また、男児では「親がなにかと干渉してくること」、「親の期待や要求が高すぎること」などの割合が女児より高く、女児では「自分の容姿に関すること」、「友達との関係に関すること（友達ができない・友達の輪に入れないなど）」などの割合が男児より高くなっている。（図7）

子どもの性別に、悩みや不安についての相談相手をみると、男女ともに「母」の割合が最も高く、次いで、「友人」、「父」の順となっている。

また、男児では、「父」、「誰にも相談しない」などの割合が女児より高く、女児では、「友人」、「母」などの割合が男児より高くなっている。（図8）

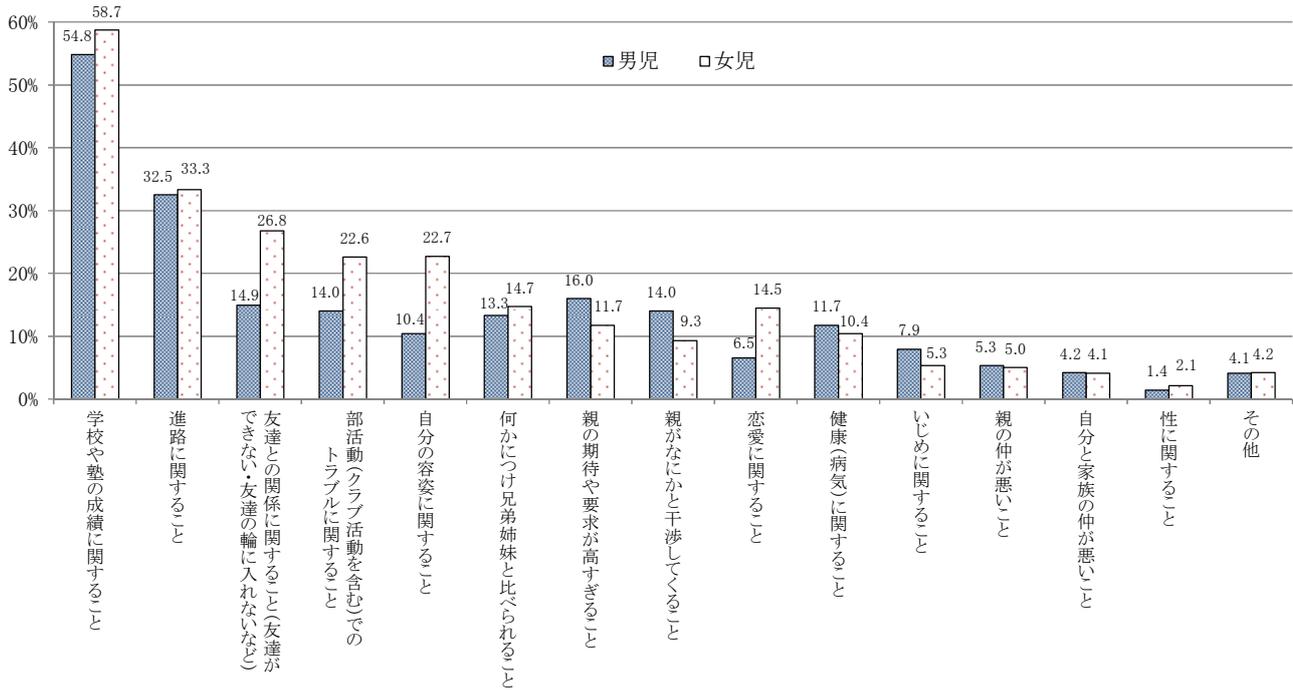
図6 子ども性別にみた悩みや不安の有無【第13回調査】



注：第13回調査の回答を得た者のうち、男児（総数 15,663）を集計。

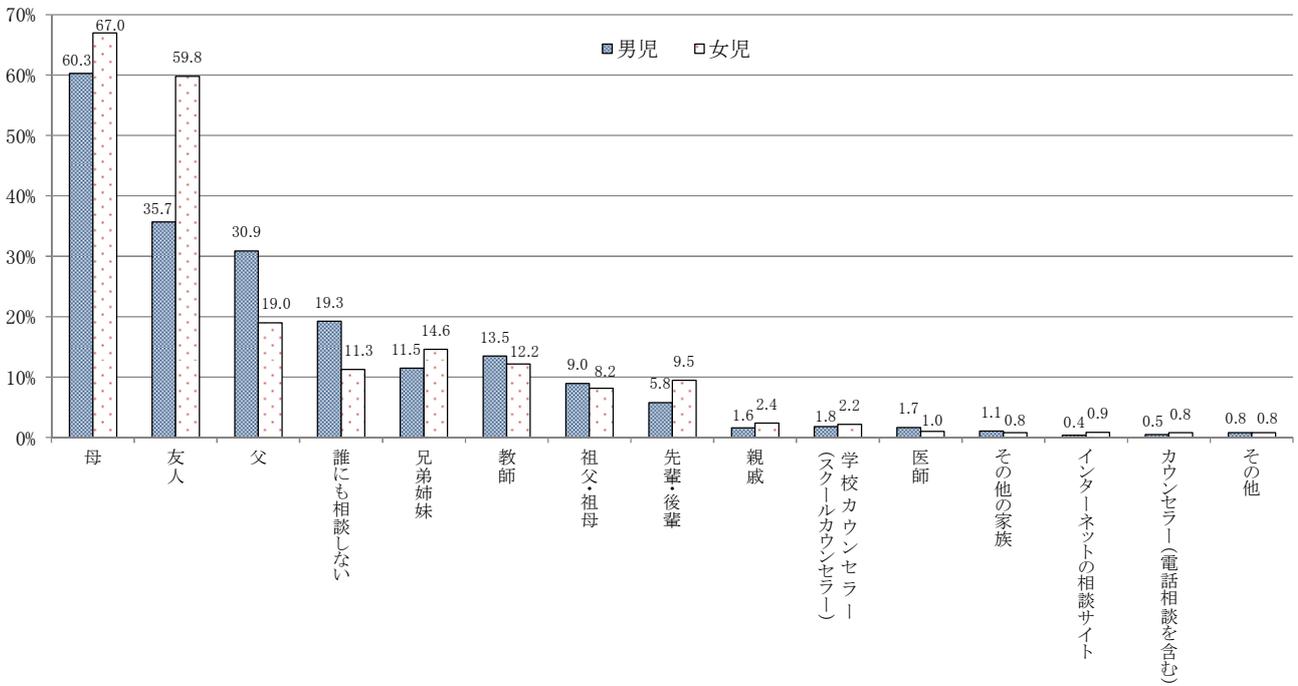
注：第13回調査の回答を得た者のうち、女児（総数 14,668）を集計。

図7 子どもの性別にみた悩みや不安の状況（複数回答）【第13回調査】



注：第13回調査の回答を得た者のうち、「悩みや不安がある」に回答ありの者をそれぞれ100として集計。

図8 子どもの性別にみた悩みや不安についての相談相手の状況（複数回答）【第13回調査】



注：第13回調査の回答を得た者のうち、「悩みや不安がある」に回答ありの者をそれぞれ100として集計。

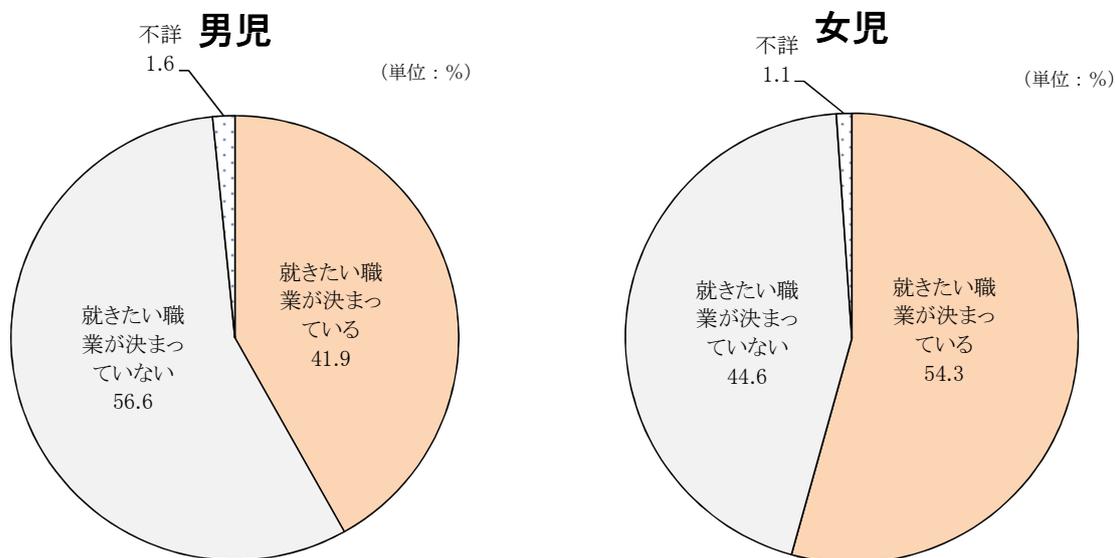
4 子どもの将来の職業

- ・ 男児より女児の方が、将来「就きたい職業が決まっている」と答えた割合は高くなっている
- ・ 子どもが将来その職業に就きたい理由は、「自分の興味や好みにあっているから」の割合が最も高く、保護者が子どもに将来就いて欲しい職も、「子ども自身が望む職」の割合が最も高くなっている

子どもの性別に、将来就きたい職業が決まっているかどうかの割合をみると、男児は「就きたい職業が決まっている」が41.9%、「就きたい職業が決まっていない」が56.6%で、過半数が「就きたい職業が決まっていない」と答えている一方、女児は「就きたい職業が決まっている」が54.3%、「就きたい職業が決まっていない」が44.6%と、過半数が「就きたい職業が決まっている」と答えている（図9）。

さらに、将来「就きたい職業が決まっている」と答えた子どもについて、子どもがその職業に就きたい理由と、保護者が子どもに将来就いて欲しい職をそれぞれみると、「自分の興味や好みにあっているから」（子ども）・「子ども自身が望む職」（保護者）の割合が最も高く、次いで「自分の能力や適性が生かせるから」（子ども）・「本人の才能を生かせる職」（保護者）となっている。一方、子どもと保護者で違いがみられるのは、保護者の「安定した職」の割合が52.1%と高いのに対し、子どもの「失業のおそれがないから」の割合は7.0%と低くなっている。（図10）

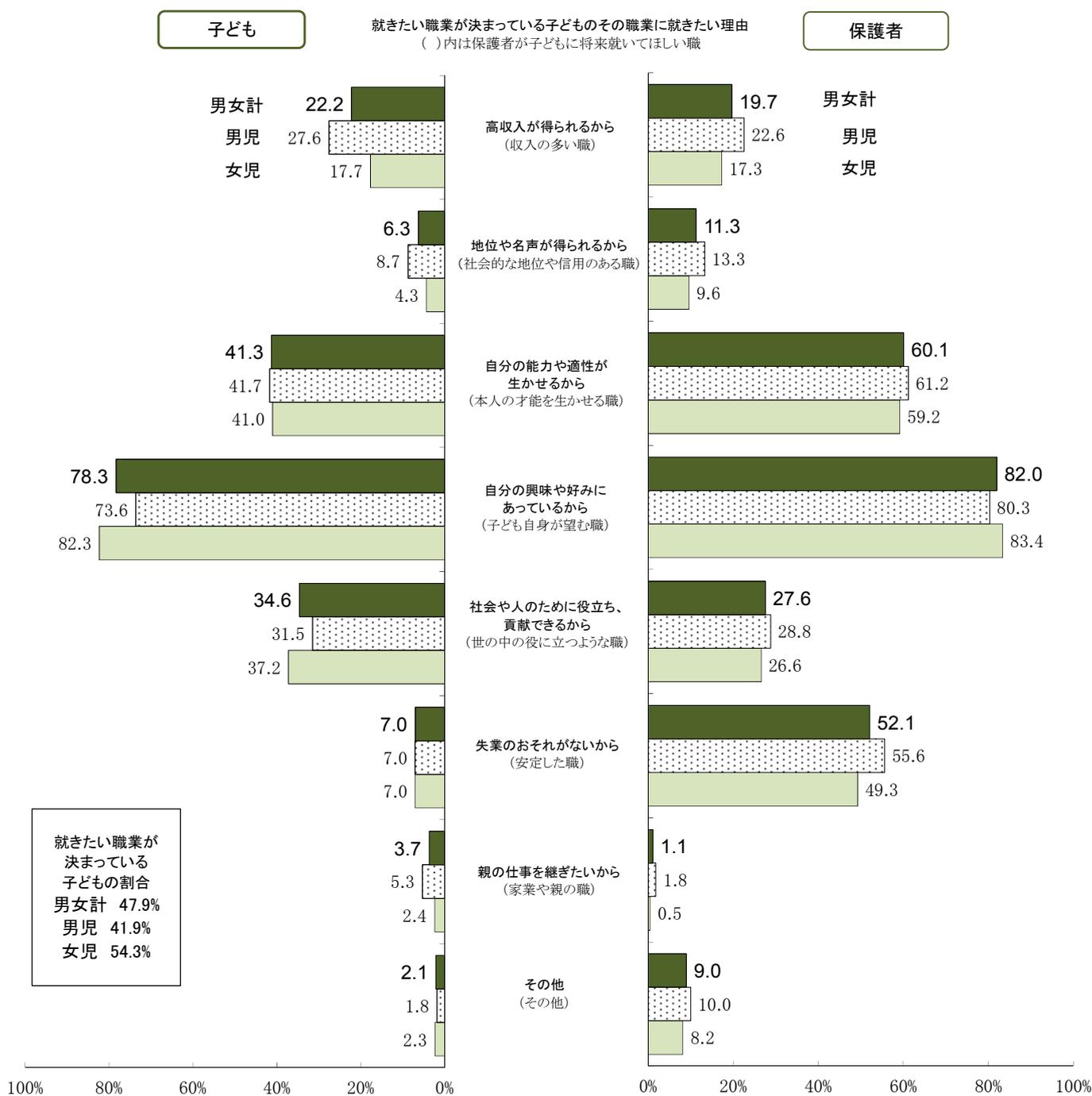
図9 子ども性別にみた将来就きたい職業の有無【第13回調査】



注：第13回調査の回答を得た者のうち、男児（総数 15,663）を集計。

注：第13回調査の回答を得た者のうち、女児（総数 14,668）を集計。

図 10 子どもが将来その職業に就きたい理由(複数回答)と保護者が子どもに将来就いてほしい職の状況(複数回答)【第 13 回調査】



注: 第13回調査の回答を得た者のうち、「就きたい職業が決まっている」に回答ありの者をそれぞれ100として集計。

【第4回調査（平成22年出生児）】

1 母の就業状況の変化

母が有職の割合は年々増加し、第4回調査では51.0%となっており、平成13年出生児第4回調査の41.8%に比べ、9.2ポイント高くなっている

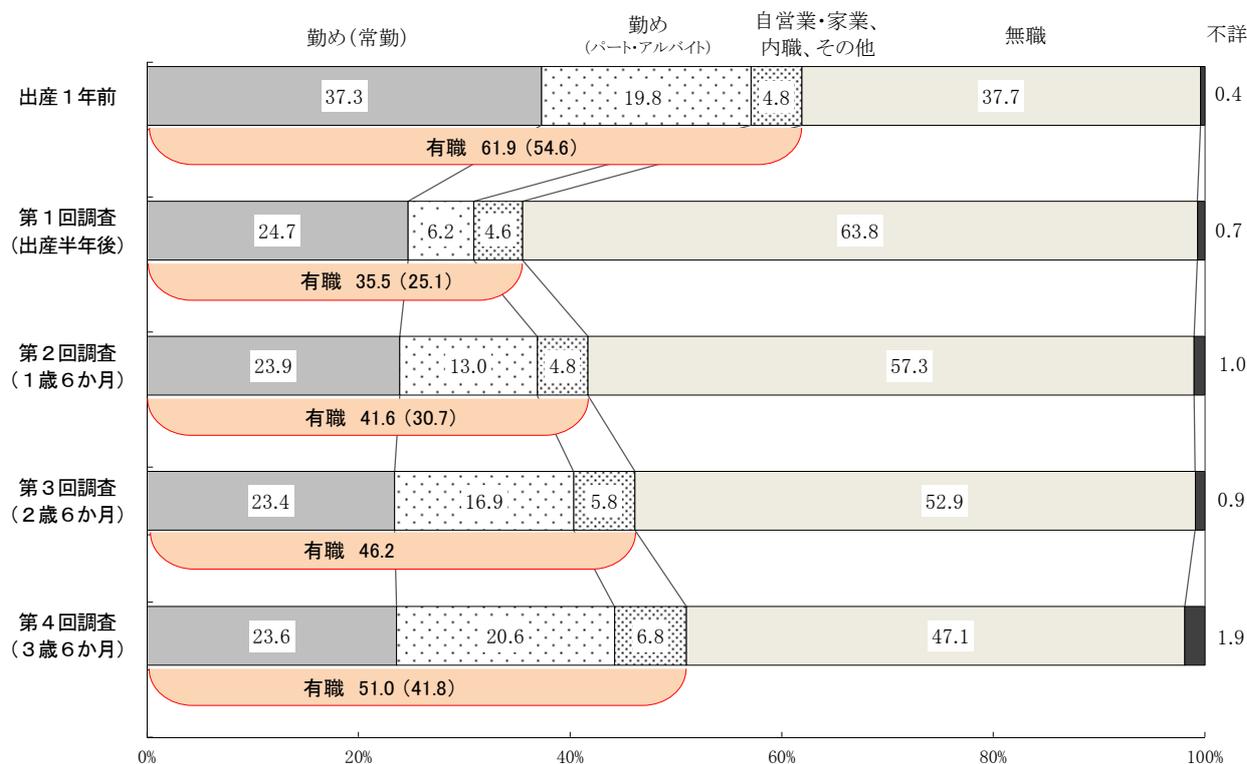
母が有職の割合は、出産1年前の61.9%が、第1回調査（出産半年後）で35.5%に減少したが、その後は年々増加し、第4回調査（3歳6か月）では51.0%となっており、平成13年出生児第4回調査の41.8%に比べ、9.2ポイント高くなっている。

母の就業状況の変化をみると、「勤め（常勤）」の割合は、第1回調査（24.7%）から第4回調査（23.6%）まで大きな変化はないが、「勤め（パート・アルバイト）」の割合は、第1回調査（出産半年後）の6.2%から年々増加し、第4回調査では20.6%となっている。（図1）

また、第3回調査（2歳6か月）と第4回調査（3歳6か月）との変化をみると、第3回調査で「無職」であった母のうち、15.2%が「有職」となり、その内訳では「勤め（パート・アルバイト）」が最も多くなっている（表1）。

第4回調査の母の就業状況をきょうだい構成別にみると、「有職」の割合は「弟妹のみ」（41.6%）と「兄姉のみ」（56.0%）では、「兄姉のみ」の方が14.4ポイント高くなっている（表2）。

図1 母の就業状況の変化の世代間比較



注:1)平成22年出生児の第1回調査から第4回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者(総数 27,536)を集計。

2) ()内の数値は、平成13年出生児の第1回調査から第4回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者(総数 39,662)を集計。

なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

表1 第3回調査の母の就業状況別にみた第4回調査の母の就業状況

(単位:%)

第3回調査 (2歳6か月)	第4回調査 (3歳6か月)	総数 ²⁾	無職	(再掲)		有職	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業	内職	その他
				仕事を 探して いる	仕事を 探して いない						
総数 ²⁾		(100.0) 100.0	47.1	4.5	40.0	51.0	23.6	20.6	4.6	1.1	1.2
無職		(52.9) 100.0	82.8	7.1	71.4	15.2	1.6	10.5	1.6	1.1	0.4
(再掲)	仕事を探している	(4.7) 100.0	43.7	17.1	24.5	53.4	8.0	40.0	2.6	1.9	0.9
	仕事を探していない	(46.5) 100.0	87.0	6.1	76.8	11.1	0.9	7.5	1.4	1.0	0.4
有職		(46.2) 100.0	6.3	1.5	4.2	92.1	48.8	32.3	8.0	1.0	2.0
	勤め(常勤)	(23.4) 100.0	2.7	0.9	1.5	95.6	88.5	4.2	0.6	0.1	2.3
	勤め(パート・アルバイト)	(16.9) 100.0	9.4	2.3	6.3	89.0	7.0	78.7	1.7	0.3	1.4
	自営業・家業	(4.2) 100.0	8.7	1.2	6.6	89.7	4.3	6.9	76.2	0.5	1.8
	内職	(0.8) 100.0	24.8	3.7	19.6	73.4	1.4	21.5	2.8	45.8	1.9
	その他	(0.8) 100.0	13.8	1.3	10.8	84.9	51.3	17.2	4.3	1.7	10.3

注：1) 第1回調査から第4回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数 27,536）を集計。

2) 総数には、母の就業状況「不詳」を含む。

3) ■■■ は、母の就業状況に変化のないものである。

表2 きょうだい構成別にみた母の就業状況【第4回調査】

(単位:%)

母の就業状況	きょうだい構成 ²⁾	総数 ³⁾	無職	有職	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業	内職	その他
	ひとり(対象児本人のみ)	(23.8) 100.0	43.1	54.7	28.5	20.4	4.2	0.7	0.9
	弟妹のみ	(23.1) 100.0	56.4	41.6	23.5	11.6	3.8	0.6	2.1
	兄姉のみ	(44.9) 100.0	42.4	56.0	22.3	26.4	5.2	1.4	0.6
	兄弟姉妹あり	(8.3) 100.0	54.1	43.5	17.0	18.0	5.1	1.1	2.3

注：1) 第4回調査の回答を得た者のうち、「母と同居」の者（総数 29,530）を集計。

2) きょうだい構成は、第4回調査で調査対象児と同居している兄弟姉妹の構成をいう。

3) 総数には、母の就業状況「不詳」を含む。

2 食事のようすで心配なこと

食事のようすで「心配なことがある」は75.8%で、平成13年出生児第4回調査の80.3%に比べ、4.5ポイント低くなっている。

食事のようすで「心配なことがある」と答えている割合は75.8%で、平成13年出生児第4回調査の80.3%に比べ4.5ポイント低くなっている。

また、「食事のようすで心配なこと」の内容をみると、「食べる量にむらがある」が最も多く41.6%、次いで「落ち着いて食べない」の40.6%となっており、どちらも就寝時間が遅くなるほどその割合が高くなっている。(表3、参考表)

表3 就寝時間別にみた食事のようすで心配なこと（複数回答）の世代間比較【第4回調査】

(単位：%)

	総数	心配なことがある	食事のようすで心配なこと(複数回答)							特に心配なことはない	
			食が細い	食べる量にむらがある	好き嫌いが多い	よく噛まないで食べる	落ち着いて食べない	朝食を食べないことがある	その他		
総数	(100.0)	100.0	75.8	10.6	41.6	28.7	12.3	40.6	7.9	7.5	23.8
午後9時前に寝る	(19.7)	100.0	69.4	8.5	34.9	26.7	12.8	32.2	3.5	7.9	30.4
午後9時台に寝る	(49.7)	100.0	74.7	9.9	40.6	27.4	12.0	38.7	5.5	7.5	25.1
午後10時以降に寝る	(28.0)	100.0	81.8	13.3	47.1	31.7	12.5	49.3	14.2	7.0	17.9
寝る時間は不規則である	(1.8)	100.0	89.3	15.2	61.7	43.2	12.4	57.5	28.0	7.7	10.7

注：1)平成22年出生児第4回調査の回答を得た者（総数 29,582）を集計。
2)総数には各項目の「不詳」を含む。

(参考表：平成13年出生児調査【第4回調査】の結果)

(単位：%)

	総数	心配なことがある	食事のようすで心配なこと(複数回答)							特に心配なことはない	
			食が細い	食べる量にむらがある	好き嫌いが多い	よく噛まないで食べる	落ち着いて食べない	朝食を食べないことがある	その他		
総数	(100.0)	100.0	80.3	13.3	43.7	27.3	12.3	44.0	12.7	7.1	19.4
午後9時前に寝る	(15.9)	100.0	73.6	10.7	38.3	25.9	11.9	33.3	5.3	7.5	26.2
午後9時台に寝る	(43.9)	100.0	78.9	12.3	42.1	26.0	12.4	41.9	9.0	7.4	20.8
午後10時以降に寝る	(37.0)	100.0	84.2	15.4	46.9	28.9	12.1	50.0	18.8	6.8	15.6
寝る時間は不規則である	(2.9)	100.0	90.7	17.9	57.9	36.5	15.1	57.9	31.7	6.7	9.2

注：1)平成13年出生児第4回調査の回答を得た者（総数 41,559）を集計。
2)総数には各項目の「不詳」を含む。

3 保育サービスの利用状況

第3回調査で「利用したいと考えている」であった者のうち、第4回調査で保育サービスの利用を始めた者は40.2%、引き続き「利用したいと考えている」者は28.6%

保育所等の保育サービスの利用状況をみると、第4回調査で「利用している」は56.4%で第3回調査の39.5%より16.9ポイント増加している。

また、第3回調査で「利用したいと考えている」であった者のうち、第4回調査で「利用している」となった者は40.2%、引き続き「利用したいと考えている」者は28.6%となっている。(表4)

表4 第3回調査と第4回調査の保育サービスの利用状況

(単位:%)

第3回調査 (2歳6か月)	第4回調査 (3歳6か月)	総数 2)	利用して いる	利用して いない 2)	必要が ない	利用したい と考えて いる	利用したい 保育サービス はあるが、 経済的理由 により利用 できない			その他
							利用したい 保育サービ スに空きが ない	利用したい 保育サービ スはあるが、 居住地域に ない	利用したい 保育サービ スはあるが、 経済的理由 により利用 できない	
総数 2)	(100.0)	100.0	56.4	43.4	33.8	6.1	2.6	0.5	3.0	2.2
利用している	(39.5)	100.0	95.4	4.5	2.1	1.2	0.7	0.1	0.4	0.9
利用していない 2)	(60.3)	100.0	30.8	68.8	54.5	9.3	3.8	0.8	4.7	3.0
必要がない	(45.1)	100.0	26.4	73.3	64.2	5.0	1.8	0.5	2.7	2.3
利用したいと考えている	(9.6)	100.0	40.2	59.4	24.5	28.6	12.7	1.9	14.0	3.6
利用したい保育サービスに空きがない	(4.5)	100.0	48.6	50.9	19.1	26.2	19.2	1.3	5.6	2.8
利用したい保育サービスはあるが、 居住地域にない	(0.6)	100.0	39.3	60.7	32.1	23.8	6.5	10.7	6.5	3.6
利用したい保育サービスはあるが、 経済的理由により利用できない	(4.6)	100.0	32.1	67.4	28.9	31.5	7.2	1.2	23.1	4.4
その他	(2.9)	100.0	47.7	51.9	25.2	12.5	5.9	1.4	5.1	12.0

注：1) 第3回調査及び第4回調査の回答を得た者(総数 28,668)を集計。

2) 総数には、保育サービスの利用の有無「不詳」を含み、「利用していない」には、利用していない理由の「不詳」を含む。

3) 保育サービスとは、「認可保育所(公立)」、「認可保育所(私立)」、「認定こども園」、「自治体独自の保育施設(認証保育所など)」、「事業所内(企業内)保育施設」、「認可外保育施設(事業所内(企業内)保育施設を除く)」、「家庭的保育(保育ママ)」、「ベビーシッター」、「幼稚園」及び「その他」のサービスをいう。

統計表

【第13回調査（平成13年出生児）】

統計表1 母の就業状況の変化（5頁図1）

（単位：人）

調査回	就業状況	総数	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業、内職、 その他	無職	不詳
出産1年前		25 461	8 358	4 057	1 418	11 449	179
第1回調査(出産半年後)		25 461	4 131	900	1 366	18 836	228
第2回調査		25 461	3 894	2 208	1 501	17 736	122
第4回調査		25 461	3 937	4 208	2 072	14 987	257
第5回調査		25 461	4 087	5 330	2 155	13 468	421
第6回調査		25 461	4 195	6 256	2 269	12 490	251
第7回調査		25 461	4 249	7 460	2 245	11 321	186
第8回調査		25 461	4 440	8 529	2 191	9 986	315
第9回調査		25 461	4 615	9 237	2 231	9 183	195
第10回調査		25 461	4 747	9 822	2 060	8 511	321
第11回調査		25 461	5 017	10 770	2 163	7 393	118
第12回調査		25 461	5 267	11 448	2 010	6 658	78
第13回調査		25 461	5 626	11 819	1 996	5 855	165

注：1)第1回調査から第13回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。

2)第3回調査は母の就業状況を調査していない。

統計表2 第12回調査の母の就業状況別にみた第13回調査の母の就業状況(6頁表1)

（単位：人）

第12回調査 (小学6年生)	第13回調査 (中学1年生)	総数 ²⁾	無職	(再掲)		有職	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業	内職	その他
				仕事を 探して いる	仕事を 探して いない						
総数 ²⁾		25 461	5 855	1 681	3 950	19 441	5 626	11 819	1 567	289	140
無職		6 658	4 980	1 205	3 596	1 643	116	1 295	144	68	20
	(再掲) 仕事を探している	1 669	884	596	267	774	69	657	17	23	8
	仕事を探していない	4 733	3 916	572	3 222	796	28	588	124	45	11
有職		18 725	861	471	345	17 734	5 489	10 494	1 415	220	116
	勤め(常勤)	5 267	108	71	31	5 121	4 823	230	44	1	23
	勤め(パート・アルバイト)	11 448	593	351	216	10 785	610	10 017	95	19	44
	自営業・家業	1 564	91	22	59	1 455	45	129	1 262	6	13
	内職	333	50	17	30	280	-	87	2	191	-
	その他	113	19	10	9	93	11	31	12	3	36

注：1)第1回調査から第13回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。

2)総数には、就業状況「不詳」を含む。

統計表3 きょうだい構成別にみた母の就業状況（6頁表2）

(単位:人)

母の就業状況 きょうだい構成 2)	総数 3)	無職	有職	母の就業状況				
				勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業	内職	その他
総数	29 793	6 758	22 817	6 742	13 741	1 864	316	154
ひとり(対象児本人のみ)	4 222	1 060	3 118	1 067	1 726	265	40	20
弟妹のみ	10 964	2 776	8 133	2 317	5 006	609	139	62
兄姉のみ	11 243	2 161	8 988	2 638	5 497	700	94	59
兄弟姉妹あり	3 364	761	2 578	720	1 512	290	43	13

- 注: 1) 第13回調査の回答を得た者のうち、「母と同居」の者を集計。
 2) きょうだい構成は、調査対象児と同居している兄弟姉妹の構成をいう。
 3) 総数には、母の就業状況「不詳」を含む。

統計表4 子どもの平日の就寝時間の変化（7頁図2）

(単位:人)

調査回	総数	就寝時間					時間が不規則	不詳
		午後10時前	午後10時台	午後11時台	午前0時以降			
第11回調査(小学5年生)	28 732	14 580	11 116	2 092	134	680	130	
第12回調査(小学6年生)	28 732	11 164	12 821	3 554	309	634	250	
第13回調査(中学1年生)	28 732	3 795	12 543	9 138	1 789	1 223	244	

- 注: 1) 第11回調査から第13回調査まで回答を得た者を集計。
 2) 第11回調査と第12回調査は、「登校日」の就寝時間である。

統計表5 子どもの平日の就寝時間別にみた朝食の有無の状況（8頁図3）

(単位:人)

就寝時間	朝食の有無	総数	朝食の有無			
			食べる	食べないことがある	食べない	不詳
総数		30 331	27 904	1 775	421	231
午後10時前		3 979	3 831	116	12	20
午後10時台		13 226	12 549	545	102	30
午後11時台		9 659	8 827	652	164	16
午前0時以降		1 906	1 573	247	80	6
時間が不規則		1 291	1 017	207	62	5

- 注: 1) 第13回調査の回答を得た者を集計。
 2) 総数には、就寝時間「不詳」を含む。

統計表6 朝食を食べる子どもの主食、主菜、副菜のバランス（8頁図4）

(単位:人)

総数	朝食を食べる子どもの主食、主菜、副菜のバランス			不詳
	いつもバランスよく 食べている	ときどきバランスよく 食べている	バランスよく食べることは ほとんどない・ まったくない	
29 679	10 800	13 439	5 355	85

注: 第13回調査の回答を得た者のうち、「朝食を食べる」または「食べないことがある」に回答ありの者を集計。

統計表7 朝食を食べない子どもの食べない理由（8頁図5）

(単位:人)

総数	朝食を食べない子どもの食べない理由					不詳
	朝は食欲がない	食べる時間がない	食事が用意されて いない	その他	特に理由はない	
421	197	148	6	29	38	3

注: 第13回調査の回答を得た者のうち、「朝食を食べない」に回答ありの者を集計。

統計表8 子どもの性別にみた悩みや不安の有無 (9頁図6)

(単位:人)

性別	悩みや不安の有無	総数	悩みや不安がある	悩みや不安は特になし	不詳
総数		30 331	10 929	18 509	893
男児		15 663	4 549	10 605	509
女児		14 668	6 380	7 904	384

注:第13回調査の回答を得た者を集計。

統計表9 子どもの性別にみた悩みや不安(複数回答)と相談相手の状況(複数回答)
(10頁図7、図8)

(単位:人)

性別	悩みや不安	総数	子ども自身の悩みや不安(複数回答)														
			学校や塾の成績に関すること	進路に関すること	友達との関係に関すること(友達ができない、友達との輪に入れないなど)	部活動(クラブ活動を含む)でのトラブルに関すること	自分の容姿に関すること	何かにつけ兄弟姉妹と比べられること	親の期待や要求が高すぎること	親がなにかと干渉してくること	恋愛に関すること	健康(病気)に関すること	いじめに関すること	親の仲が悪いこと	自分と家族の仲が悪いこと	性に関すること	その他
総数		10 929	6 239	3 602	2 389	2 081	1 921	1 544	1 473	1 234	1 220	1 193	698	562	449	200	453
男児		4 549	2 491	1 479	677	639	472	607	727	638	294	530	359	242	190	64	188
女児		6 380	3 748	2 123	1 712	1 442	1 449	937	746	596	926	663	339	320	259	136	265
性別	相談相手	総数	相談相手(複数回答)														
			母	友人	父	誰にも相談しない	兄弟姉妹	教師	祖父・祖母	先輩・後輩	親戚	学校カウンセラー(スクールカウンセラー)	医師	その他の家族	インターネットの相談サイト	カウンセラー(電話相談を含む)	その他
総数		7 022	5 437	2 618	1 600	1 455	1 392	935	866	225	219	141	100	74	72	86	
男児		2 745	1 623	1 406	880	522	613	411	263	75	80	78	48	16	22	36	
女児		4 277	3 814	1 212	720	933	779	524	603	150	139	63	52	58	50	50	

注:第13回調査の回答を得た者のうち、「悩みや不安がある」に回答ありの者を集計。

統計表10 子どもの性別にみた将来就きたい職業の有無 (11頁図9)

(単位:人)

性別	総数	就きたい職業が決まっている	就きたい職業が決まっていない	不詳
総数	30 331	14 523	15 408	400
男児	15 663	6 559	8 860	244
女児	14 668	7 964	6 548	156

注:第13回調査の回答を得た者を集計。

統計表11 子どもの性別にみた子どもが将来その職業に就きたい理由(複数回答)と保護者が子どもに将来就いてほしい職の状況(複数回答)(12頁図10)

(単位:人)

性別	就きたい理由	子どもが将来その職業に就きたい理由(複数回答)							
		高収入が得られるから	地位や名声が得られるから	自分の能力や適性が生かせるから	自分の興味や好みにあっているから	社会や人のために役立ち、貢献できるから	失業のおそれがないから	親の仕事を継ぎたいから	その他
総数		3 222	914	5 997	11 377	5 028	1 013	542	298
男児		1 811	570	2 734	4 825	2 064	459	347	118
女児		1 411	344	3 263	6 552	2 964	554	195	180
性別	就いてほしい職	保護者が子どもに将来就いてほしい職(複数回答)							
		収入の多い職に就いてほしい	社会的な地位や信用のある職に就いてほしい	本人の才能を生かせる職に就いてほしい	子ども自身が望む職に就いてほしい	世の中の役に立つような職に就いてほしい	安定した職に就いてほしい	家業や親の職を継いでほしい	その他
総数		2 860	1 635	8 722	11 905	4 005	7 570	157	1 309
男児		1 484	872	4 011	5 267	1 889	3 644	115	656
女児		1 376	763	4 711	6 638	2 116	3 926	42	653

注:第13回調査の回答を得た者のうち、「就きたい職業が決まっている」に回答ありの者を集計。

【第4回調査（平成22年出生児）】

統計表1 母の就業状況の変化（13頁図1）

（単位：人）

調査回	就業状況	総数	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業、内職、 その他	無職	不詳
出産1年前		27 536	10 275	5 449	1 318	10 392	102
第1回調査(出産半年後)		27 536	6 812	1 702	1 264	17 576	182
第2回調査		27 536	6 579	3 573	1 315	15 790	279
第3回調査		27 536	6 455	4 666	1 604	14 569	242
第4回調査		27 536	6 489	5 685	1 865	12 979	518

注：第1回調査から第4回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。

統計表2 第3回調査の母の就業状況別にみた第4回調査の母の就業状況（14頁表1）

（単位：人）

第3回調査 (2歳6か月)	第4回調査 (3歳6か月)	総数 ²⁾	無職		有職		勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業	内職	その他	
			仕事を探している	仕事を探していない	勤め (常勤)	その他					
総数 ²⁾		27 536	12 979	1 233	11 025	14 039	6 489	5 685	1 254	291	320
無職		14 569	12 057	1 029	10 400	2 219	236	1 531	231	161	60
(再掲)仕事を探している		1 307	571	224	320	698	104	523	34	25	12
仕事を探していない		12 796	11 129	780	9 825	1 425	114	960	178	127	46
有職		12 725	800	188	536	11 718	6 209	4 108	1 016	127	258
勤め(常勤)		6 455	176	58	97	6 171	5 711	269	41	4	146
勤め(パート・アルバイト)		4 666	438	105	295	4 154	326	3 673	77	15	63
自営業・家業		1 158	101	14	77	1 039	50	80	882	6	21
内職		214	53	8	42	157	3	46	6	98	4
その他		232	32	3	25	197	119	40	10	4	24

注：1) 第1回調査から第4回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。

2) 総数には、母の就業状況「不詳」を含む。

統計表3 きょうだい構成別にみた母の就業状況 (14 頁表2)

(単位:人)

母の就業状況 きょうだい構成 2)	総数 3)	無職	有職					
				勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業	内職	その他
総数	29 530	13 807	15 158	6 980	6 167	1 365	300	346
ひとり(対象児本人のみ)	7 029	3 033	3 845	2 005	1 436	293	49	62
弟妹のみ	6 812	3 840	2 834	1 604	788	257	39	146
兄姉のみ	13 251	5 614	7 418	2 957	3 504	691	184	82
兄弟姉妹あり	2 438	1 320	1 061	414	439	124	28	56

注: 1) 第4回調査の回答を得た者のうち、「母と同居」の者を集計。

2) きょうだい構成は、第4回調査で調査対象児と同居している兄弟姉妹の構成をいう。

3) 総数には、母の就業状況「不詳」を含む。

統計表4 就寝時間別にみた食事のようすで心配なこと (複数回答) (15 頁表3)

(単位:人)

	総数	心配なこ とがある	食事のようすで心配なこと(複数回答)							特に心配な ことはない
			食が細い	食べる量に むらがある	好き嫌いが 多い	よく噛まない で食べる	落ち着いて 食べない	朝食を食べ ないことが ある	その他	
総数	29 582	22 424	3 147	12 298	8 480	3 637	12 025	2 348	2 208	7 029
午後9時前に寝る	5 815	4 038	493	2 029	1 550	745	1 873	202	459	1 766
午後9時台に寝る	14 692	10 980	1 454	5 962	4 026	1 763	5 681	805	1 105	3 690
午後10時以降に寝る	8 291	6 784	1 101	3 906	2 628	1 034	4 089	1 178	580	1 488
寝る時間は不規則である	532	475	81	328	230	66	306	149	41	57

注: 1) 平成22年出生児第4回調査の回答を得た者を集計。

2) 総数には各項目の「不詳」を含む。

(参考表:平成13年出生児調査【第4回調査】の結果) (15 頁参考表)

(単位:人)

	総数	心配なこ とがある	食事のようすで心配なこと(複数回答)							特に心配な ことはない
			食が細い	食べる量に むらがある	好き嫌いが 多い	よく噛まない で食べる	落ち着いて 食べない	朝食を食べ ないことが ある	その他	
総数	41 559	33 377	5 545	18 165	11 366	5 100	18 282	5 280	2 970	8 068
午後9時前に寝る	6 610	4 862	705	2 529	1 713	786	2 201	351	494	1 733
午後9時台に寝る	18 245	14 402	2 245	7 686	4 752	2 257	7 652	1 645	1 347	3 801
午後10時以降に寝る	15 396	12 962	2 368	7 219	4 443	1 866	7 698	2 892	1 044	2 407
寝る時間は不規則である	1 215	1 102	217	703	444	184	704	385	81	112

注: 1) 平成13年出生児第4回調査の回答を得た者を集計。

2) 総数には各項目の「不詳」を含む。

統計表 5 第3回調査と第4回調査の保育サービスの利用状況 (16 頁表 4)

(単位:人)

第3回調査 (2歳6か月)	第4回調査 (3歳6か月)	総数 2)	利用して いる	利用して いない 2)	必要が ない	利用したい と考 えている	利用したい保育サービスはあ るが、			その他
							利用したい 保育サー ビスに 空きが ない	利用したい 保育サー ビスはあ るが、 居住地 域に ない	利用したい 保育サー ビスはあ るが、 経済的 理由 により 利用 できな い	
総数 2)		28 668	16 163	12 436	9 683	1 741	749	136	856	632
利用している		11 336	10 820	511	242	134	85	6	43	107
利用していない 2)		17 278	5 321	11 895	9 419	1 604	663	130	811	522
必要がない		12 930	3 410	9 476	8 307	650	233	66	351	297
利用したいと考 えている		2 756	1 108	1 636	676	788	351	51	386	100
利用したい保育サー ビスに空きがない		1 278	621	651	244	335	246	17	72	36
利用したい保育サー ビスはあるが、 居住地域にない		168	66	102	54	40	11	18	11	6
利用したい保育サー ビスはあるが、 経済的理由により 利用できない		1 310	421	883	378	413	94	16	303	58
その他		842	402	437	212	105	50	12	43	101

注：1) 第3回調査及び第4回調査の回答を得た者を集計。

2) 総数には、保育サービスの利用の有無「不詳」を含み、「利用していない」には、利用していない理由の「不詳」を含む。

3) 保育サービスとは、「認可保育所（公立）」、「認可保育所（私立）」、「認定こども園」、「自治体独自の保育施設（認証保育所など）」、「事業所内（企業内）保育施設」、「認可外保育施設（事業所内（企業内）保育施設を除く）」、「家庭的保育（保育ママ）」、「ベビーシッター」、「幼稚園」及び「その他」のサービスをいう。

用語の定義

(1) 同居者

同居者には次のものは含まない。

- ① 長期（概ね3か月以上）にわたって不在にしている者
 - ② 現在不在で不在期間が長期にわたることがわかっている者
- ただし、①、②の者で途中定期的に帰宅する者は同居者としている。

(2) きょうだい構成

調査対象児と同居している兄弟姉妹の構成であり、調査対象児が双子、三つ子の場合、他にきょうだいがいなければきょうだい「兄弟のみ」としている。

年齢不詳のきょうだいがいる場合、第1回調査時からいるきょうだいは、「兄弟」としている。

ひとり	調査対象児本人のみ
弟妹のみ	調査対象児のほかに弟や妹がいる
兄弟のみ	調査対象児のほかに兄や姉がいる
兄弟姉妹あり	調査対象児のほかに兄や姉と弟や妹がいる

(3) 就業状況

「有職」

勤め（常勤）、勤め（パート・アルバイト）、自営業・家業、内職、その他を合わせたもの
育児休業中等の休業を含む。

「勤め（常勤）」

事業所の所定労働時間を通じて勤務する者

「勤め（パート・アルバイト）」

同一事業所の一般の労働者より1日の所定労働時間が短い又は1日の所定労働時間が同じでも1週の所定労働日数が少ない者

「無職」

家事（専業）、無職、学生を合わせたもの